
今年度の取り組み報告

令和5年11月16日

グリーンIoTラボ・桑名



太陽光発電設備共同購入事業（家庭向け）

○取り組み内容

- ・ 太陽光発電設備や蓄電池について、多くの購入希望者（一般家庭、事業所）を集めることで、スケールメリットを活かし、市場価格より一定程度安価で購入することができる取り組み
- ・ 市民への募集は市が協定を締結した支援事業者が行い、市は共同購入事業に関する広報支援を行う
- ・ 令和4年度は桑名市が実施、R5年度からは三重県全域（県下29市町）で実施

○対象者

市内の住宅用、事業所用（10kW未満）

○対象設備

太陽光発電設備、蓄電池

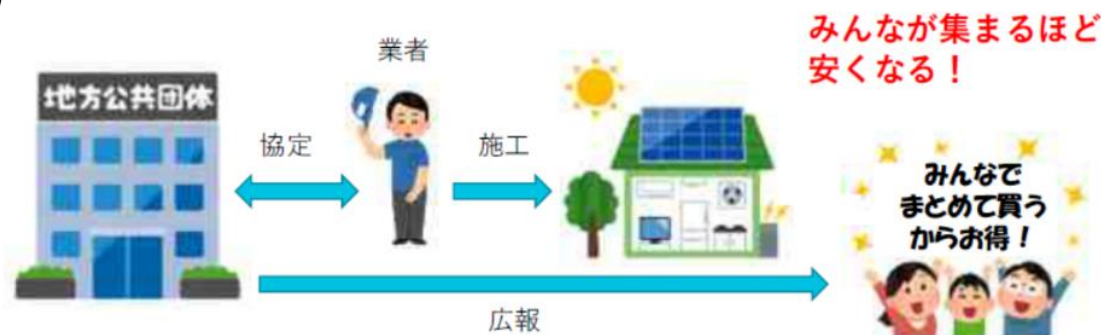
○募集期間と結果

令和4年度（市単独実施）

- ・ 募集期間 令和4年5月24日～9月15日
- ・ 参加登録者数 539件
- ・ 設置件数 40件

令和5年度（三重県（県下29市町）と共同実施）

- ・ 募集期間 令和5年5月16日～9月13日
- ・ 参加登録者数 県全体 1,886件
内、桑名市 267件



太陽光発電設備共同購入事業（家庭向け）



桑名市
KUWANA CITY



グリーンIoTラボ・桑名



みんなの
おうちに
太陽光

災害時の
停電対策にも！

住宅用・事業用
—10kW未満—

電気代が上がっている今だからこそ 太陽光を賢く使うチャンス！

この機会に是非みんなで
太陽光パネル・蓄電池を購入しませんか？



選べる施工費込みのプラン＆割引率

1 太陽光パネル

同様の電気代を
自家消費
で削減！

15.5% OFF

1,302,960円

2 太陽光パネル+蓄電池

同様の電気代を
削減！
災害対策にも！

20.0% OFF

2,671,240円

3 蓄電池

太陽光パネル無し
でもPVでコスト！

23.9% OFF

1,499,630円

※1 太陽光パネルの設置費、施工費は別途見積り（※2）に含みます。
※2 蓄電池の設置費は、別途見積り（※3）に含みます。また、PV（太陽光パネル）の設置費は、別途見積り（※4）に含みます。

桑名市民の皆様へ

昨年度たくさんの方に提供していた共同購入の参加者を今年度も募集しています。桑名市ではゼロカーボン化のための取り組みを推進しており、ゼロカーボンシティの実現のためには市民の皆様のご協力が必要です。日々の生活に使う電気を自宅で発電できる太陽光パネルや災害時にも安心な蓄電池は、CO2削減効果だけでなく、おうちの電気代の節約にもつながります。ぜひ、この機会に地球環境に優しいエネルギーの導入を検討してください。

桑名市長 伊藤 徳宇

無料の参加登録をすると、ご自宅に導入した場合のお見積もりが確認できます。

参加登録期間 2023年

5.16 ▶ 9.13

三重 みんなのおうちに太陽光

参加登録・詳しい情報は専用WEBサイトからご確認
<https://group-buy.jp/solar/mie/home>



桑名市
KUWANA CITY



グリーンIoTラボ・桑名



みんなの
おうちに
太陽光

充実した保証

太陽光パネル+蓄電池保証

システム保証 15年 | 自然災害保証 10年 | パネル出力保証 20年 | 施工保証 10年 | 蓄電池部品保証 10年

太陽光パネル保証 | 蓄電池保証

システム保証 15年 | 自然災害保証 10年 | パネル出力保証 20年 | 施工保証 10年 | 蓄電池部品保証 10年

オプションも選べる

HEMS | V2H | エコキュート | 蓄電制御

よくある質問

Q 誰でも参加できますか？
A 太陽光パネルや蓄電池を設置する建物（住宅）が市内にあれば、個人も法人も参加できます。

Q メーカーや製品は選べますか？
A ご購入いただけるのはキャンペーンで指定されたメーカー製品のみとなりますが、十分な品質をクリアした製品を選定しておりますのでご安心ください。

Q 蓄電池があると停電時、どれくらい電気が使えますか？
A 6.5kWhの蓄電池が蓄電フル充電されている場合、通常の家庭用（約435W）を約11時間、連続使用が可能です。長引く停電にも対応できるのも蓄電池の強みです。

Q 蓄電池を購入したら、新たに電力会社と手続きが必要ですか？
A 変更申請が必要です。手続きは施工業者が代行しますので、ご安心ください。

Q 共同購入「グループパワーチェイス」とはなんですか？
A 一人で買えるモノの量は限られています。でも、10人いたら？100人いたら？このように、たくさんの方が集まり、たくさんのお金を集める力・購買力を高めることで、これまでにお得な買取りが得られる、新しい買い方です。

まずは無料登録！

登録から調査の申込み・購入までの流れ

1 無料の参加登録（受付中）
専用WEBサイトから参加登録、自宅・建物のことをわかる程度で入力

2 見積りを確認（7月下旬から）
太陽光パネル・蓄電池がいくらくらい買えるのか見積りを確認（無料）

3 調査の申込み（9月13日まで）
設計・見積り見直しを作成する際の調査や確認の調査に申込み

※参加登録期間は延長する場合があります。

お問い合わせ窓口

三重 みんなのおうちに太陽光事務局
☎ 0120-728-300
受付時間：10:00～18:00（土・日・祭日も除く）

三重 みんなのおうちに太陽光
検索

参加登録・詳しい情報は専用WEBサイトからご確認
<https://group-buy.jp/solar/mie/home>

※本事業（太陽光発電及び蓄電池設置の共同購入事業）は三重県・桑名市とアイディエーター（株）が協定を締結して実施しています。

太陽光発電設備等設置費補助金（家庭向け）

市内における再生可能エネルギーの利用を促進し、温室効果ガスの排出削減を図るため、太陽光発電設備及び蓄電池の設置に対して、設置費用の一部を補助しています

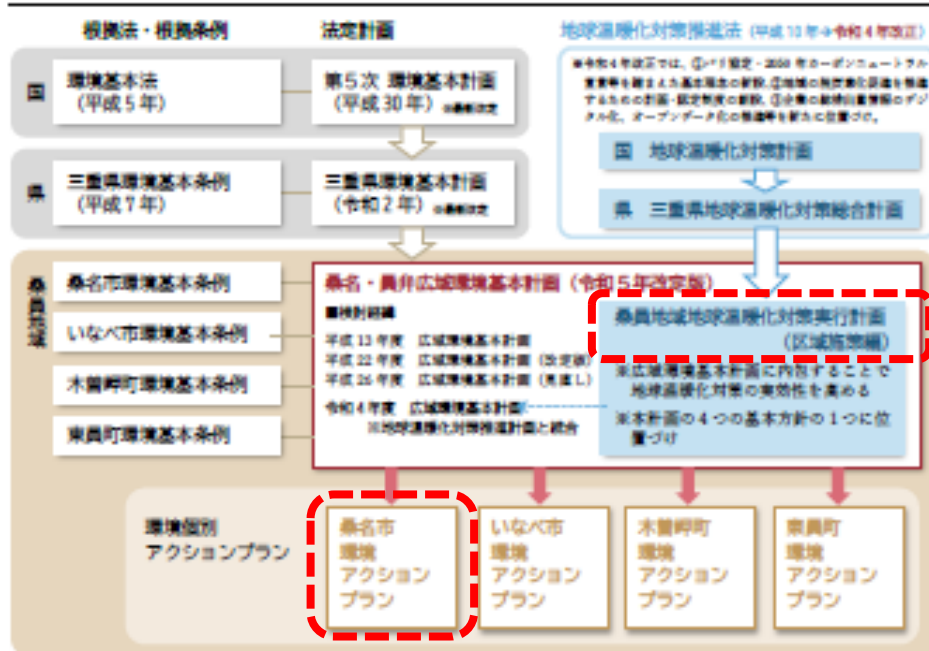
募 集 期 間	令和5年10月2日～令和6年1月31日までに実績報告書を提出 ※募集期間内であっても補助金の予算額に達し次第、受付終了
補助対象設備 と補助率	太陽光発電設備：7万円/kW（上限10kW、70万円まで） 蓄電池：設置費用の1/3（上限10kWhまで）
対象者の主な条件	・市内で自ら所有し居住する住宅の屋根に太陽光発電設備を設置する方 ・市税等の滞納がない方 ・国や県から他の補助等を受けていない方 ・FIT、FIP制度の認定を受けていない方 ・発電した電力量の30パーセント以上を申請した住宅の敷地内で自ら消費する方など

※三重県が国の地域脱炭素移行・再エネ推進交付金（重点対策加速化事業）を活用して実施する事業であるため、令和5年度から5年間実施予定



桑名市地球温暖化対策実行計画の策定

■本計画の位置づけ



策定中の計画より一部抜粋

■計画の来歴



2. 計画の概要

（1）桑名地域の特性

①計画の期間（予定）

- 広域環境基本計画の計画期間は、令和6年度から令和15年度までの10年間とします。
- ただし、環境問題や社会情勢の変化等を踏まえ、必要に応じて計画の見直しを行うものとします。

②計画区域

- 桑名市、いなべ市、木曽町、東員町の桑名・員井地域全域

③計画の対象範囲

- 広域環境基本計画が対象とする環境の範囲は、下表のとおりです。

区分	対象とする内容
地球	地球温暖化、再生可能エネルギー、省エネルギーなど
ごみ・資源	家庭系ごみ、事業系ごみ、リサイクル、廃棄物処理など
自然	動植物、生態系、森林、農地、水辺、公園・緑地など
生活	大気、水質、土壌、騒音、振動、臭い、日照、地盤沈下、不審投棄など

- 地球温暖化対策推進法に示される温室効果ガスのうち、本計画では、温室効果ガス排出量全体に占める割合や排出量の突撃、把握の難易度などを考慮して、二酸化炭素のみを対象とします。
- 二酸化炭素の発生状況を把握する部門は、産業部門と家庭部門、業務その他部門、運輸部門、廃棄物部門、工業プロセス部門とします。

（2）計画の検討・策定体制

- 計画の改定に当たっては、2市2町がそれぞれで設立する環境審議会での審議を踏まえながら、環境関連施策担当課が各自治体の取り組みを進めています。
- これらの各自治体の取り組みや、審議会での審議を踏まえ、広域連合としての計画を策定するため、各市町の審議会の代表が集まる【懇話会】及び、実務担当者が集まる【作業部会】により、桑名・員井地域全体としての検討を行う体制としています。



桑名市地球温暖化対策実行計画の策定

3. 桑名・員弁広域環境基本計画の施策体系

- 広域環境基本計画では地球環境のこと、暮らしのこと、自然のことを、みんなで考え、守っていくために、目標とする将来像、4つの基本方針と、その実現のための施策を設定しています。

目標 4つの基本方針

地球を まもる

脱炭素の社会づくり

2050年度のカーボンニュートラルの実現を目指して、効率的なエネルギーの活用や脱炭素化を進めて、みんなで地球を守っていきます。

■実現したい未来の姿

- ・みんなができることを行い脱炭素化が実現している
- ・再生可能エネルギーが当たり前に使われている 等



暮らしを まもる

安心・快適なまちづくり

まちとして安心、快適に暮らせる環境を整えながら、一人ひとりもごみになるものを減らしながら、みんなで暮らしを守っていきます。

■実現したい未来の姿

- ・変化する自然環境に対応しており安心して暮らせる
- ・リサイクル等がごみごみになるものが減っている 等



自然を まもる

共生する地域づくり

地域の豊かなみどりやみずの自然環境を保全し、そこに多様な生態系が育まれるよう取り組みながら、みんなで地域の自然を守っていきます。

■実現したい未来の姿

- ・みどりやみずの豊かな自然環境が保全されている
- ・自然環境に支えられ、多くの生き物が住んでいる 等



みんな でまもる

パートナーシップの仕組みづくり

暮らし人、働く人、訪れる人など地域みんなが、環境のことに関心をもち、行動できるように、地域みんなを守る仕組みをつくります。

■実現したい未来の姿

- ・環境のことを、色々な場所で学べる
- ・住民・企業・行政が連携して行動する仕組みがある 等



桑名に生きるみんなの力をつなげて 未来の地球も まちも 自然も 守り育て地域づくり

Ⅲ 桑名市の取り組み

1. これまでの主な取り組み

桑名市では、スマート・エネルギー構想や省エネオフィスプラン（地球温暖化防止実行計画）等の計画を策定し、環境に関する取り組みを推進するとともに、NPO 法人や自治会等と連携し、リサイクル、資源回収等に取り組んできました。

令和3年3月には「桑名市ゼロカーボンシティ宣言」を行い、2050年カーボンニュートラルの実現に向けて、産学官連携による協議体制を構築し、再生可能エネルギーの導入に関して、行政として以下のように率先した取り組みを進めています。

①桑名IoT推進ラボ協議会（グリーンIoTラボ・桑名）を設立

- ・誰ひとり取り残さない持続可能なまちづくりを目指すため、産学官金の連携により、IoTを活用し、ゼロカーボンシティの実現に向けた取り組みを推進することを目的として、令和3年5月にグリーンIoTラボ・桑名を設立しました。

グリーンIoTラボ・桑名



②公共施設への再生可能エネルギー等導入促進

- ・市役所本庁舎には、木曽町干拓地メガソーラーで発電された100%再生可能エネルギー電気を導入しています。
- ・市内13箇所の公共施設にはPPA（電気購入契約）を活用して太陽光発電設備を設置し、発電された電気を自家消費しています。また、同時に蓄電池を設置しており、災害発生時には予備電源として活用することも可能となることから、防災力の強化も図っています。
- ・東邦ガス株式会社と「ゼロカーボンシティ実現に向けた包括連携協定」を締結し、市内38箇所の公共施設にカーボンニュートラルな都市ガスを導入しています。



③多度山上公園への循環式トイレの設置

- ・多度山上公園に設置したトイレは、太陽光と風力で発電した電気を利用して稼働しており、トイレに使用される水は処理槽でろ過され再生水として循環するため、外部への排水もなく、環境にやさしい循環式トイレになっています。



策定中の計画より一部抜粋

デコ活（脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動）宣言

○デコ活（脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動）とは

- ・脱炭素につながる新しい豊かな暮らしの実現に向けた国民の行動変容、ライフスタイル転換のうねり・ムーブメントを起こすべく、新しい国民運動を開始し、世界に発信する
- ・デコ活とは、脱炭素な暮らしの実現をめざして2022年10月に始まった国民運動の愛称
- ・デコ活の「デ」は「Decarbonization（デカーボナイズーション＝脱炭素）」、「コ」は「CO2（二酸化炭素）」の意味で、環境に良いことを示す「エコ」の響きも意識している。「活」は「生活」や「活動」を意味する

○デコ活の内容

- ・国、自治体、企業、団体、消費者等の主体が、国民・消費者の新しい暮らしを後押しする
 - ① デジタルも駆使して、多様で快適な働き方、暮らし方を後押し（テレワーク、地方移住、ワーケーションなど）
 - ② 脱炭素につながる新たな暮らしを支える製品・サービスを提供・提案
 - ③ インセンティブや効果的な情報発信（気づき、ナッジ）を通じた行動変容の後押し（消費者からの発信も含め）
 - ④ 地域独自の（気候、文化等に応じた）暮らし方の提案、支援

桑名市は令和5年8月29日にデコ活宣言をおこないました！

[メッセージ]

桑名市は2021年3月に「ゼロカーボンシティ」を宣言しました！

市民一人ひとりの命と暮らしを守るため、桑名市は脱炭素社会の実現に向けて、公共施設への再エネ導入や家庭用太陽光発電の普及支援など、CO2削減のための取り組みを積極的に行っています。今後も国や県、事業者の皆さん、そして市民の皆さんと一緒に脱炭素社会の実現に向けた様々な取り組みを推進し、持続可能で誰一人取り残さないまちづくりを目指します。



実践データサイエンティスト育成プログラム

名 称 実践データサイエンティスト育成プログラム〔大学院生・社会人向け〕

目 的 科目「実世界データ演習」において、データ等を用いたグループワークを行い、桑名市に対して提案を行う

契約相手先 国立大学法人東海国立大学機構

期 間 令和5年9月から来春まで

テ ー マ 2050年に向けた桑名市のカーボンニュートラル ～今後の取り組みについて～
・ 桑名市の脱炭素施策に足りない要素は何かを見つける
・ 桑名市の脱炭素の進め方について提案してもらう
※いずれも類似団体の取り組み状況や二酸化炭素排出量を調査し、比較分析を行う

スケジュール	令和5年5月～8月	・ 事前調整、テーマ決定 ・ 覚書締結
	9月	・ 課題説明会
	10月	・ キックオフミーティング
	11月	・ 中間発表会
	12月	・ 課題報告会リハーサル
	令和6年1月	・ 課題報告会 ・ 最終報告書提出
	2月	・ 修了式



その他の取り組み

▶公共施設照明のLED化

公共施設のエネルギー効率を高めるため、電気の使用量が多い消防施設において、照明のLED化を推進しています

○対象施設、設置箇所

桑名市消防本部、西分署、多度分署の内、
24時間365日使用している照明（執務室、車庫など）

○導入方法

リース方式（5年間）

○効果

3施設全体の電気使用料合計は前年度比▲4.6%
（令和5年5月～9月実績値比較）



▶環境学習の実施

本年1月に締結した「桑名市と東邦ガス株式会社とのゼロカーボンシティ実現に向けた包括連携協定」により、東邦ガス株式会社様として初めての試みとなる市内の小学生向けの環境学習を実施します

○日時

令和5年12月6日

○対象者

益世小学校の6年生2クラス（60名程度）

○学習内容

電気をつくって・ためて・エネルギーの組み合わせについて学ぼう（予定）

